

Beyond MDGs Japan 勉強会シリーズ第3弾
持続可能な開発目標(SDGs)採択国連サミットならびに関連会合報告会

2015年10月24日(土) 15:30~18:30

日本大学 通信教育部 3階 31講堂

総合司会：大橋正明<国際開発学会 社会連携委員会 委員長、聖心女子大学 教授>

ただいまより、持続可能な開発目標、SDGs 採択国連サミット、ならびに関連会合報告会を開催したいと思います。ようこそお集まりいただきました。ありがとうございます。本日、総合司会を務めます大橋です。よろしく願いいたします。Beyond MDGs Japan とは、五つの NGO と二つの学会と二つの政府系組織が一緒になっているネットワークで、SDGs について勉強会を開催し意見交換とそれらの発信をしています。

ポストMDGと言われたり色んな呼び名がありましたけど、今回国連総会で採択されたSDGについて、自分たちで勉強し、意見を言う場を作り、それを広く伝えていきます。このような形でシェアリングするというので、今日がこの3回目の勉強会ということになります。

第1回は『ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ』について、第2回は『人口と雇用』という事で中東とアフリカが中心になる勉強をしてまいりました。今日は国連創設70周年ということで、他にもイベントがいろいろあるのですが、皆さんこちらに来ていただきましてありがとうございます。3回目となる今回は、SDGs のことについて、これから皆さんと一緒に見識を深めていきましょう。それでは、最初に会場を提供して下さった日本大学を代表して日本大学大学院総合社会情報研究所の教授である陸亦群先生にご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

オープニング 陸 亦群<日本大学大学院 総合社会情報研究科 教授>

皆さんこんにちは。日本大学通信教育部へようこそ。好天气に恵まれたこの10月の良き日に、Beyond MDGs Japan と日本国際情報学界共催のこの勉強会に多数ご臨席たまわり、厚く御礼申し上げます。MDGs が2015年に期限を迎え、その代わりSDGs、いわゆる持続可能な開発目標が先月の25日、ニューヨーク国連本部で全会一致より採択されました。ご存じのようMDGs が2000年に策定され、その対象は主としては発展途上国であります。極度の貧困や飢餓の撲滅、普遍的な初等教育の達成、女性の地位向上など8分野21項目で取り組みが行われました。各国の努力によって1日1.25ドル未満で生活する人の数のほうが半減するなど多大なる成果が上がりました。一方近年の地球温暖化や生物多様性の消失、格差の拡大、従来のMDGs の枠組みの中では対処できない問題も表面化しております。そこで193の世界のリーダーたちは今後15年の間に貧困の根絶、気候変動に対する行動、平和と正義の三つの壮大な試みの実現に向けて17のグローバルゴールをオープンとしたわけであります。このSDGs の中では持続可能な開発の実現に向けてこれまでのMDGs の課題を引き継ぎつつ、新たに不平等の是正、持続可能なエネルギーの確保、地球の環境変動の対策、平和の促進など、その中に盛り込まれて、取り組みの対象は合計で17分野169の項目あって、多岐にわたっております。これからの報告会の中では開発系市民社会団体の立場、環境系市民社会団体の立場、そして大学、公立研究の立場からの報告が予定しております。せっかくの機会でございますので、私のスピーチはここまでとさせていただきます。専門家の先生がたの話を伺いたいと存じます。本日のご参集どうもありがとうございます。

総合司会：大橋正明<国際開発学会 社会連携委員会 委員長、聖心女子大学 教授>

どうも陸先生、ありがとうございました。

(オープニング/了)